PAW-1229(19051)

施工説明書

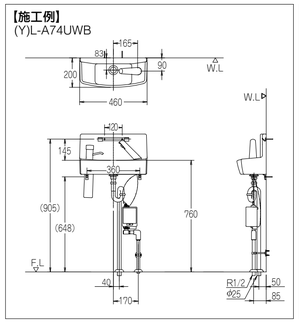
壁付手洗器 (Y)L-A74シリーズ

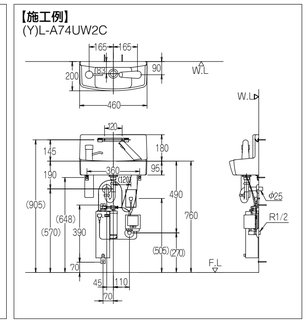
ハンドル水栓：(Y)L-A74HA
セルフストップ水栓：(Y)L-A74PA
自動水栓(AC100V)：(Y)L-A74UAA
自動水栓(アクエナジー)：(Y)L-A74UMA 他

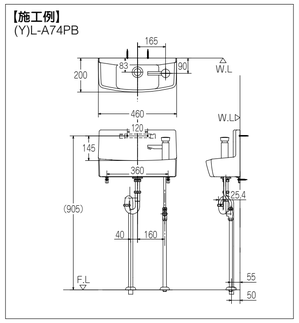
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

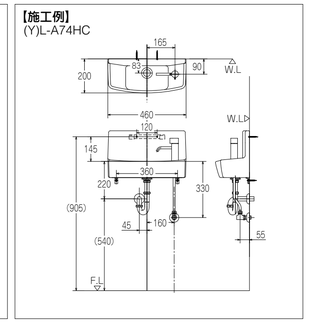
●施工完了図

※（　）内寸法は手洗器あふれ縁高さ760を基準にした参考寸法です。









●部品の確認（梱包内容をご確認ください）

【施工例】		自動水栓タイプ				セルフストップ水栓タイプ				ハンドル水栓タイプ			
セット品番	水石けん無しタイプ	(Y)L-A74UAA(100Vタイプ) (Y)L-A74UAC(100Vタイプ)	(Y)L-A74UAB(100Vタイプ) (Y)L-A74UAD(100Vタイプ)	(Y)L-A74UMA(アクエナジータイプ) (Y)L-A74UMC(アクエナジータイプ)	(Y)L-A74UMB(アクエナジータイプ) (Y)L-A74UMD(アクエナジータイプ)	(Y)L-A74PA	(Y)L-A74PB	(Y)L-A74PC	(Y)L-A74PD	(Y)L-A74HA	(Y)L-A74HB	(Y)L-A74HC	(Y)L-A74HD
	水石けん有りタイプ	(Y)L-A74UA2A(100Vタイプ) (Y)L-A74UA2C(100Vタイプ)	(Y)L-A74UA2B(100Vタイプ) (Y)L-A74UA2D(100Vタイプ)	(Y)L-A74UM2A(アクエナジータイプ) (Y)L-A74UM2C(アクエナジータイプ)	(Y)L-A74UM2B(アクエナジータイプ) (Y)L-A74UM2D(アクエナジータイプ)	(Y)L-A74P2A	(Y)L-A74P2B	(Y)L-A74P2C	(Y)L-A74P2D	(Y)L-A74H2A	(Y)L-A74H2B	(Y)L-A74H2C	(Y)L-A74H2D
	温水自動水栓(100V) 水石けん無しタイプ	(Y)L-A74UWA(100Vタイプ) (Y)L-A74UWC(100Vタイプ)	(Y)L-A74UWB(100Vタイプ) (Y)L-A74UWD(100Vタイプ)										
	温水自動水栓(100V) 水石けん有りタイプ	(Y)L-A74UW2A(100Vタイプ) (Y)L-A74UW2C(100Vタイプ)	(Y)L-A74UW2B(100Vタイプ) (Y)L-A74UW2D(100Vタイプ)										
手洗器・水栓		水石けん無しの場合		水石けん付の場合		水石けん無しの場合		水石けん付の場合		水石けん無しの場合		水石けん付の場合	
固定金具													
水石けんボトル		水石けん無しの場合は付きません											
排水トラップ		床排水の場合		壁排水の場合									
止水栓・機能本体部		100Vタイプ		アクエナジータイプ									
小型電気温水器		100Vタイプの場合のみ付きます		アクエナジータイプの場合は付きません		セルフストップ水栓タイプの場合は付きません				ハンドル水栓タイプの場合は付きません			

●仕様

項目		仕様			
		自動水栓タイプ		セルフストップタイプ	ハンドル水栓タイプ
		AC100V式	アクエナジー式		
使用圧力範囲		0.05～0.75MPa {0.5～7.6kgf/㎠} ※小型電気温水器付きの場合は電気温水器の使用水圧を確認ください。	0.05～0.75MPa {0.5～7.6kgf/㎠}	0.07～0.75MPa {0.7～7.6kgf/㎠}	0.05～0.75MPa {0.5～7.6kgf/㎠}
小型電気温水器との組合せ		あり	なし		
使用水		水道水および飲用可能な井戸水			
使用環境温度範囲		0～40℃			−20～40℃（0℃以下は水を抜いた状態）
使用環境湿度範囲		90%RH以下		−	−
適正流量範囲		2～3L／分（定流量弁内蔵）		5L／分（定流量弁内蔵）	−
給水（給湯接続）		R1／2		PJ1／2	
電源	主電源	AC100V（50Hz/60Hz）	最大DC5.5V【電源回路】	−	
	バックアップ	−	DC3V【リチウム電池】	−	
消費電力		待機時0.2W以下 使用時1.3W以下	待機時0.1W以下 使用時2.5W以下	−	
感知方式		距離測定式赤外線センサー		−	−
感知距離		約90mm		−	−
感知エリア幅		約φ10mm		−	−

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した⚠警告、注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は取扱説明書と共にお客さまで保管いただくよう依頼してください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意 ……「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
⚠ ……「注意しなさい！」（上記の「警告」、「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
禁止 ……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
分解禁止 ……「分解してはいけません！」
水場使用禁止 ……「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」
接触禁止 ……「指示した場所に触れてはいけません！」
指示実行 ……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

●小型電気温水器、自動水栓など電気を使用する場合は施工使用時の事故を回避するため次の項目をよくお読みいただき事故のないように正しく施工してください。

⚠警　告

水道水の水質基準に適合した水以外には取り付けないでください。 ※器具の内部腐蝕により、発火、ショート、感電、故障の原因となります。	指示実行
水につけたり、水をかけないでください。 ※発火、ショート、感電、故障の原因となります。	禁止
バスルームなどの水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では使用しないでください。 ※感電・火災の原因となります。	水場使用禁止
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重い物を乗せたり、挟み込んだりしないでください。 ※電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。	禁止
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。 ※感電、ショート、発火の原因となります。	禁止
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理改造は行わないでください。 ※発火したり、異常動作してケガをすることがあります。	分解禁止

⚠注　意

陶器は割れものです。 ●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。 ●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。 ※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。	指示実行
施工後に漏水検査を必ず行ってください。 ※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。	指示実行
取付工事の前に ※使い勝手や性能発揮のために流量調節をしてください。とくに水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。 ●給水圧力は0.05～0.75MPa {0.5～7.6kgf/㎠}です。セルフストップは0.07～0.75MPa {0.7～7.6kgf/㎠}、温水自動水栓は0.1～0.75MPa {1～7.6kgf/㎠}にしてください。 給水圧力が0.75MPa {7.6kgf/㎠}を越える場合は、市販の減圧弁などで適正圧力（0.20MPa {2.0kgf/㎠}程度）に減圧してください。	指示実行
取付けに際して ●同梱の部品以外は使用しないでください。 ●陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。 ※陶器が割れてケガする恐れがあります。 ●各接続部は、水漏れのないように確実に接続してください。	禁止 指示実行
取付けた後で ●最終点検時は配管接続部の水漏れ点検を十分に行ってください。 ●お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	指示実行 指示実行
トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用ウエットティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。 ※発火、ショート、感電、故障の原因となります。	禁止
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。 ※感電やショートして発火することがあります。	指示実行
AC100Vタイプは、交流100V以外では使用しないでください。 ※火災、感電の原因となります。	禁止
オーバーフロー穴はありません。あふれ防止のため、吐水中はその場を離れないでください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	指示実行

専用リチウム電池についての安全上の注意

下記のことを必ずお守りください。漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。

⚠警　告

下記のことを必ずお守りください。漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。
●専用リチウム電池を充電しないでください。
●専用リチウム電池を水の中に入れないでください。
●専用リチウム電池を加熱したり火中に投げ入れないでください。
●専用リチウム電池を強制放電しないでください。
●付属の専用リチウム電池以外の電池を使用しないでください。
（禁止）

●専用リチウム電池を分解・加工・改造しないでください（分解禁止）

⚠注　意

下記のことを必ずお守りください。漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。
●専用リチウム電池の液が漏れたときは、液をきれいに拭き取ってください。万一、液が体についたときは、水でよく洗い流してください。漏液した電池は使用しないでください。（指示実行）
●専用リチウム電池を機器に使用するまでの間、または機器から取り外して保管するときなどは、風通しの良い、乾燥したあまり温度の上がらない場所に保管してください。（指示実行）

●使用条件

●給水圧力は0.05～0.75MPa {0.5～7.6kgf/㎠}です。セルフストップは0.07～0.75MPa {0.7～7.6kgf/㎠}、温水自動水栓は0.1～0.75MPa {1～7.6kgf/㎠}にしてください。
給水圧力が0.75MPa {7.6kgf/㎠}を越える場合は、市販の減圧弁などで適正圧力（0.20MPa {2.0kgf/㎠}程度）に減圧してください。

●施工前のご注意

●給水は水道水および飲用可能な井戸水に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズをつけないように十分注意してください。
●流量調節や取付後の保守点検のために必ず止水栓を取り付けて、止水栓の点検口を設けてください。
●電源線は1.6㎜又は2.0㎜以上のものをご使用ください。（現場手配）
●電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。
●水道工事と電気工事は十分工程を打ち合わせのうえ行ってください。
●電源コードの長さは1.2mです。コンセントは電源コードの届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。
●別売トラップカバーを施工される際は、トラップカバーに同梱の施工説明書を合わせてご覧ください。
●機能本体部は必ず正しい向きに取り付けてください。
※横にしたり、逆さに取り付けますと誤作動の原因となります。
●電気製品ですので機能本体部に水をかけないようにご注意ください。
●センサーの表面を傷つけないように十分ご注意ください。
●水栓の機能を十分に発揮させるため、必要な場合定流量弁を取り外し、流量調節栓を絞って、流量を調節してください。（「流量の調節」の項参照）
●インバーター照明により誤作動する場合があります。
●直射日光が当たらない場所に設置してください。
●万が一の危険防止の為、電源の一次側に1ヶ所漏電遮断器を設置してください。

●施工方法

1. 給排水の位置決め、取出し

標準施工図に従って給水管・排水管を取り出してください。

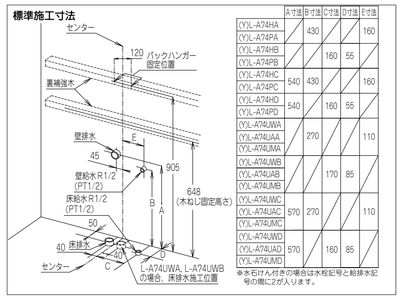
◆注意点
●器具取付前に給水管、排水管内に異物が混入しないようにしてください。
●給水管にはプラグ（LF-7T）、排水管にはビニール袋等でカバーしてください。

●給水ソケット、25㎜管（30排水塩ビ管）は、仕上面と一致するように取り出します。
●強度確保のため、次のような補強をします。

〔木造壁の場合〕
補強板厚み15㎜以上になるように、補強木を設けてください。
※補強木は構造体との固定を行ってください。

〔コンクリート壁の場合〕
取付部の奥行は75㎜以上（コンクリート厚40㎜以上）を確保してください。
※AYボルト（AY-33：2本、AY-24：2本）は別途用意ください。

標準施工寸法

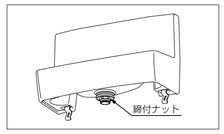


	A寸法	B寸法	C寸法	D寸法	E寸法
(Y)L-A74HA		430			160
(Y)L-A74PA					
(Y)L-A74HB		160	55		
(Y)L-A74PB					
(Y)L-A74HC	540	430			160
(Y)L-A74PC					
(Y)L-A74HD	540		160	55	
(Y)L-A74PD					
(Y)L-A74UWA		270			110
(Y)L-A74UAA					
(Y)L-A74UMA					
(Y)L-A74UWB			170	85	
(Y)L-A74UAB					
(Y)L-A74UMB					
(Y)L-A74UWC	570	270			110
(Y)L-A74UAC					
(Y)L-A74UMC					
(Y)L-A74UWD	570		160	85	
(Y)L-A74UAD					
(Y)L-A74UMD					

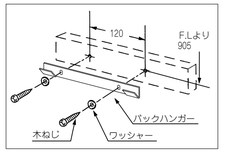
※本石けん付きの場合は本栓記号と給排水記号の間にCが入ります。

2. 手洗器の取付け

●締付ナットがしっかり締まっていることを確認してください。必要に応じて増し締めしてください。

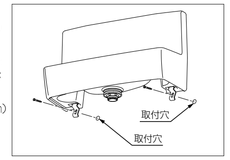


●右記の壁面の所定位置に左右のバックハンガーが各々傾きのないよう、また、左右の高さが同一水平面にそろうよう正しく取り付けてください。
※センターと陶器のセンター印を合わせてバックハンガーにのせてください。陶器に付いているセンター印は施工後にはがしてください。
※施工後の補修を容易にするために、手洗器をモルタルで埋戻したり、接着剤で固定したりしないでください。
バックハンガーを所定の位置に水平に取り付けます。
※コンクリート壁の場合、AYボルト（AY-33）用下穴（φ11、深さ60㎜）をあけてください。

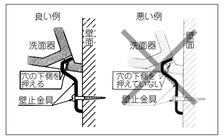


3. 壁止金具の取付け

トラップカバー（別売り）を施工する場合は、この時に専用金具の取り付けが必要です。トラップカバー施工説明書をご覧ください。
手洗器をバックハンガーに合わせ仮据えし上部を押え、手洗器の水平を確認したのち、下部の取付穴の位置をけがき下穴をあけ、その後木ねじで固定します。
※コンクリート壁の場合、AYボルト（AY-24）用下穴（φ11、深さ65㎜）をあけてください。

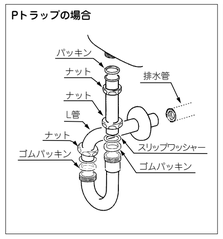


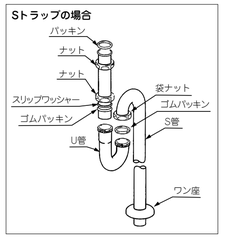
壁止金具の湾曲している側を洗面器の取付穴に当てがい、木ねじ穴の位置を当り、案内穴をあけて木ねじで締め付けてください。この壁止金具は締め付けると、洗面器を引き下げる力が働きますので強固に取り付きます。



4. 排水管の接続

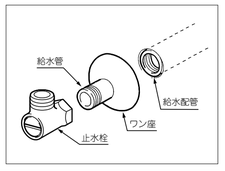
排水管の接続を行います。
●排水トラップを仮付けして、差込しろとして約30㎜残してください。
●塩ビ管：市販のゴムジョイント（別売）を使って接続してください。
●鉛管：ハンダで溶接して接続してください。





5. 止水栓の取付け

壁面（床面）の給水管に止水栓を取付けます
※ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けてねじ込んでください。
※止水栓の形状は仕様によって異なります。
※自動水栓タイプの止水栓についているキャップは機能本体部を接続するまで取り外さないでください。



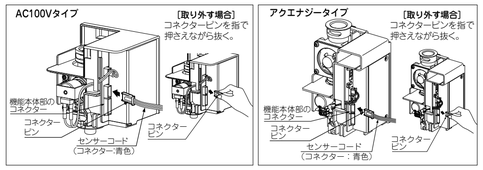
セルフストップ水栓タイプ、ハンドル水栓タイプの場合は（自動水栓タイプの場合）を飛ばして後述の該当タイプへ進んでください。

株式会社 LIXIL
●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173
受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

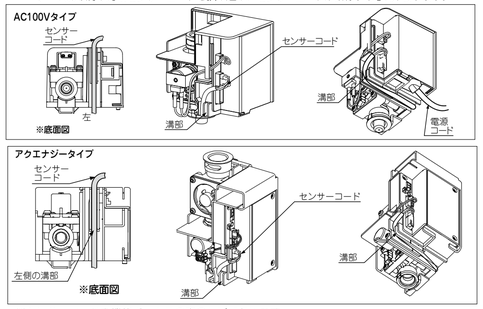
【自動水栓タイプの場合】

6. コードの接続（AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通）

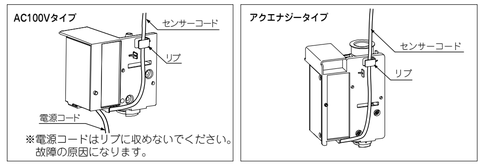
(1)センサーコード（コネクター：青色）のコネクターピンを外側に向けて機能本体部のコネクターに差し込みます。
※濡れた手で触れたり、水がかからないように行ってください。故障の原因になります。



(2)センサーコードを溝部に沿ってはめ込みます。
※センサーコードを正面からみて左側の溝部にはめ込みます。
※裏側までしっかりはめ込んでください。センサーコードが溝部にはまっていないとフロントケースの取付け時にセンサーコードを挟み込み、センサーコードが断線する恐れがあります。

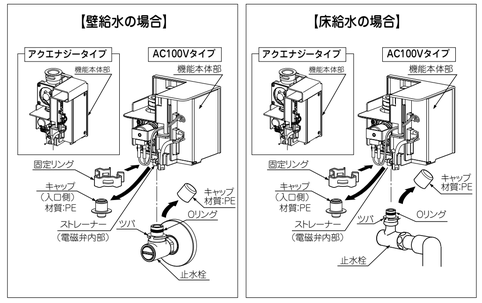


(3)センサーコードを機能ボックスの裏のリブに収めます。

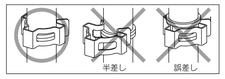


7. 機能本体部の取付け（AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通）

(1)止水栓のキャップと機能本体部の入口側のキャップを取り外し、機能本体部が正面を向くように止水栓のツバと機能本体部のツバが接するまで差し込みます。
※Oリングを傷つけたり、ゴミがみしないように行ってください。漏水の原因になります。
※誤ってストレーナーを外さないでください。ゴミが電磁弁内に入り、故障の原因になります。



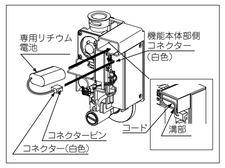
(2)付属の固定リングを接続部（ツバ部）にはめ込みます。
※確実にはめ込んでください。しっかりはめ込んでいないと漏水や固定リングでケガをする恐れがあります。
※かるく機能本体部を上げても、固定リングが外れないことを確認してください。



8. 専用リチウム電池の接続（アクエナジータイプのみ）

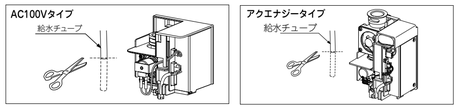
(1)同梱の専用リチウム電池を機能本体部にセットします。

(2)専用リチウム電池のコネクター（白色）のピンを右側にして機能本体部側のコネクター（白色）に差し込みます。
※コードを溝部にはめ込んでください。コードが溝部に入っていないと、フロントケースの取付時にコードをかみ込み断絶する恐れがあります。
※専用リチウム電池は必ず接続してください。接続しないと夜間等の長時間使用しない場合に、吐水しなくなります。
※コードを溝部にはめ込んでください。コードが溝部に入っていないと、フロントケースの取付時にコードをかみ込み断絶する恐れがあります。

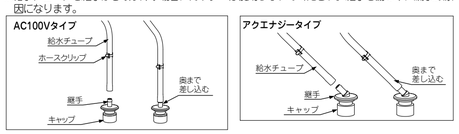


9. 給水チューブの接続（AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通）

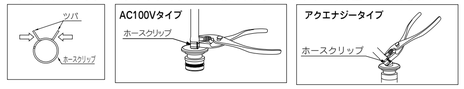
(1)給水チューブが折れ曲がらないように必要な長さを確認し、水平に切断します。
※給水チューブの取付けには必ず順序を守ってください。漏水の原因になります。
※必ず給水チューブの必要な長さを確認してください。給水チューブが長すぎると折れ曲がり流量が出なくなる恐れがあります。



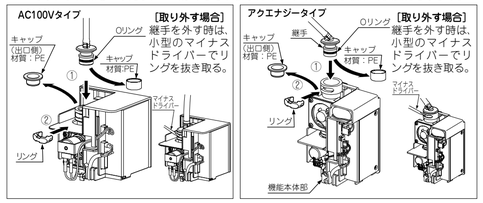
(2)給水チューブを継手の奥まで差し込みます。
※給水チューブを継手から取り外す場合、カッターは使用しないでください。継手を傷つけ、漏水の原因になります。



(3)プライヤー等を使用し、ホースクリップで固定します。
※プライヤー等でホースクリップのツバ部分を挟み、ホースソケット段部上へ移動させます。

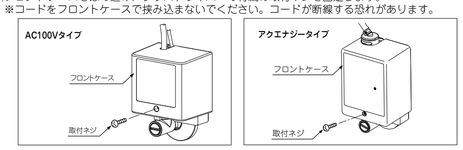


(4)機能本体部の出口側のキャップ、継手のキャップ、リングをとり外し、機能本体部の出口に継手を差し込み、リングで固定します。
※Oリングに傷をつけたり、ゴミがみしないように行ってください。漏水の原因になります。



10. フロントケースの取付け（AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通）

(1)フロントケースをはめ込み、プラスドライバーで付属の取付ネジを固定します。
※コードをフロントケースで挟み込まないでください。コードが断線する恐れがあります。



11. 電源プラグの接続（AC100Vタイプのみ）

電源プラグをコンセントに接続する。

●水石けん容器の取付け

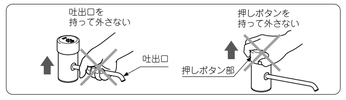
1.袋ナットにパッキンが入っていることを確認してください。

2.ストレーナー、盗難防止ワイヤーに容器の袋ナット部を近づけて容器の中に通します。
押し込んだ後、手締めで締め込み、取付脚ねじ部にしっかりと固定します。

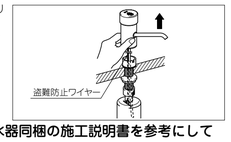
取付け後の確認

3.本体固定ボタンを押した状態で、そのまま本体を持ち上げて外します。
※吐出口を持って外さないでください。
※押しボタンを持って外さないでください

⚠ 注意



3.本体を軽く引っ張って、盗難防止ワイヤーにより本体が止まることを確認してください。
※本体を外したときに、引っぱり過ぎて盗難防止ワイヤーに荷重がかからないようにしてください。
盗難防止ワイヤーの破損の原因になります。

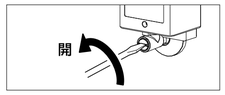


●小型電気温水器施工は小型電気温水器同梱の施工説明書を参考にしてください。

●施工後の調節

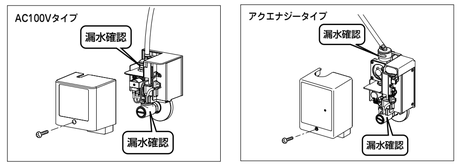
1. 通水確認（AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通）

(1)止水栓を開きます。



(2)手を差し出し、センサーを感知させ、水がでることを確認します。

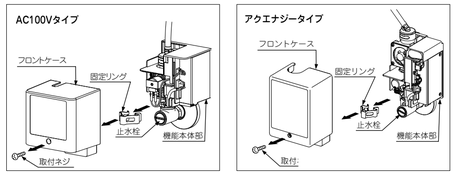
(3)水を止め、接続部から漏水がないことを確認します。



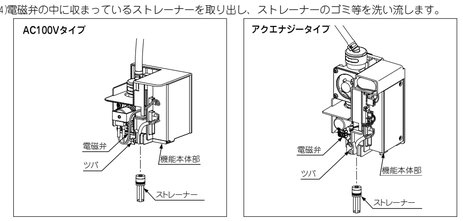
2. ストレーナーの掃除

初期通水後のゴミを取り除くため、ストレーナーの掃除を以下の要領で行ってください。
(1)止水栓を閉じます。
(2)手を差し出し、センサーを感知させ、止水確認、圧抜きをします。

(3)フロントケース、固定リングを取り外し、機能本体部を止水栓から取り外します。

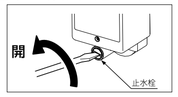


(4)電磁弁の中に収まっているストレーナーを取り出し、ストレーナーのゴミ等を洗い流します。



3. 流量の調節

(1)マイナスドライバーで止水栓を回し全開にします。
※節水のため定流量弁を装着しているので、一定以上の流量（3.0L/分以上）は出ません。
※流量の目安は1Lの容器いっぱいにするのに約20～30秒。

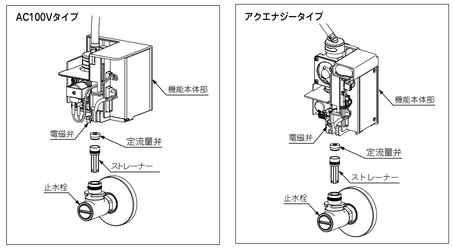


流量が十分な場合 ➡ このままご使用可能

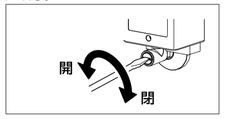
流量が少ない場合 ➡「4. 流量が不足する場合の調節」へ進む

4. 流量が不足する場合の調節

低圧の現場や電気温水器との組み合わせで流量が不足する場合は、定流量弁を取り外して流量を調節する必要があります。
(1)止水栓を閉めた後、電磁弁の中に収まっている定流量弁を取り外します。
※定流量弁を取り外した後、必ずストレーナは電磁弁に取り付けてください。
ストレーナーを取り外してしまうとゴミ等が電磁弁内につまり故障の原因になります。



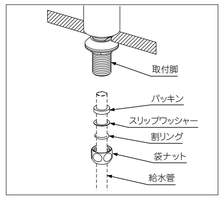
(2)マイナスドライバーで止水栓を回し、流量を調節します。
※流量の目安は1Lの容器いっぱいにするのに約20～30秒。



〔セルフストップ水栓タイプ・ハンドル水栓タイプの場合〕

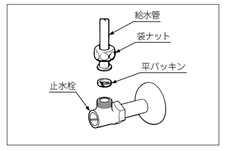
7. 水栓本体と給水管の接続

(1)取付脚への差込しろ（約20mm）を確保して、給水管（止水栓に付属）を切断します。
(2)給水管に袋ナット、割リング、スリップワッシャー（金属）及びパッキンの順序に組み付けます。
(3)給水管を取付脚に約20mm差し込み、袋ナットは、はじめに手でいっぱいに締め付けてから、工具で3/4～1回転増締めしてください。
（締付けトルク14.7～19.6N･m（150～200kgf･cm））



8. 給水管と止水栓の接続

給水管の袋ナットを止水栓に固定します。



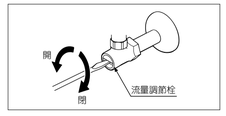
【セルフストップ水栓タイプ】

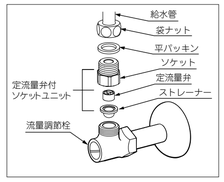
●吐水と止水

押しボタンを一回押して手を放してください。一定量吐水した後、止水します。連続して吐水する場合は、使用する間押しボタンを押し続けてください。

●流量の調節

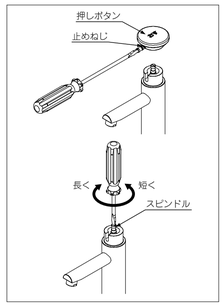
流量調節栓を全開にします。
※節水のため定流量弁を内蔵していますので、一定以上の流量（5L/分以上）は出ません。
※低圧の現場で流量が不足する場合は、定流量弁付ソケットユニット内の定流量弁を取り外して、定流量弁付ソケットユニットを流量調節栓に取り付け、流量調節栓にて流量の調節を行ってください。





●吐水時間の調節

吐水時間調節ねじをスピンドルに装備していますので、次の要領で適度な吐水時間に調節してください。
(1)流量を調節して吐水時間を確かめます。
(2)止めねじをマイナスドライバーでゆるめ押しボタンを取り外します。
(3)スピンドルをマイナスドライバーで回転させて吐水時間を調節します。
右回転…長くなる
左回転…短くなる
推奨範囲　5～10秒
※スピンドルを左回転に回しすぎると吐水時間調節ねじが脱落することがありますので回しすぎないようご注意ください。
(4)押しボタンをスピンドルに取り付け、押しボタンを押して吐水時間を確かめます。
(5)調節が終わったら止めねじをスピンドルに止まるまでしっかり締め付けてください。



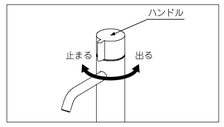
【ハンドル水栓タイプ】

●吐出量の調節

ハンドルを右に回すと吐出し、回す角度で吐出量を調整できます。（最大回転角度90°）

●流量の調節

使用時に水が飛散しない程度に流量調節栓で調節してください。



●水石けんの補給方法

●水石けんは下表のものをご使用ください。

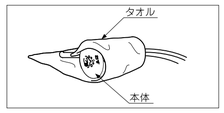
メーカー名	銘　柄	推奨希釈倍率
サラヤ製	シャボネット石鹸液 ユーム	7 ～ 10
	シャボネット　ゴールド	7
ジョンソン・プロフェッショナル(株)製	バーレックス・ハンドソープ・プラス	7 ～ 8
	バーレックス・ハンドソープ・プラスC	7 ～ 8
アルボース製	石鹸液 G-N	3 ～ 10
	石鹸液	3 ～ 10

※クレゾール等の消毒液は使わないでください。
※表以外の水石けんでは、ムース状にならなかったり、吐出しない場合があります。
※水石け成分に次亜塩素酸ナトリウム、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、グルコン酸クロム、ヘキシジンが含まれる場合、金属腐食の恐れがあり、吐出しなくなることがあります。
※希釈していない原液を使わないでください。ムース状にならなかったり、残った水石けんが固まり、吐出しなくなることがあります。
※水石けんを薄めすぎないでください。薄めすぎると水質成分と化合して浮遊物が発生し、ノズル詰まりを起こす恐れがあります。
※異物が混入した水で水石けんを希釈しないでください。詰まり、故障の原因になります。
●補給に使用する容器はきれいなものを使用してください。市販の補給タンクやペットボトルを使用すると便利です。シンナー等の有機溶剤、洗剤の空き容器などを使用すると故障・異常の原因となりますので使用しないでください。
●あらかじめ希釈した水石けんを補給してください。水石けんの原液を先に入れ、後から水を補給するとムース吐出状態悪化の原因になります。

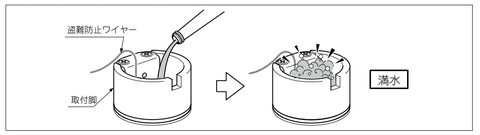
1.本体固定ボタンを押した状態で、そのまま本体を持ち上げて外します。
※吐出口を持って外さないでください。
※押しボタンを持って外さないでください。

⚠ 注意

2.本体はタオル等の布で包んで傷つけないようにして置いてください。



3.水石けんをゆっくり入れてください。

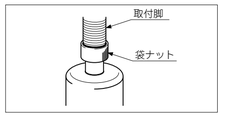


※水石け容器容量は約400mlです。入れすぎにご注意ください。
※入れすぎた液が、カウンター上にあふれますのでご注意ください。
※勢いよく入れると泡が出てきたら補給を止めてください。泡が出てきたら補給を止めてください。

4.本体を取付脚に取り付けます。
※カチッと音がするのを確認してください。

5.補給後5回以上押しボタンを押して、ムース状の水石けんを吐出させます。
以降は、1回押すだけで適量が得られます。

6.取付脚と袋ナットの間から漏れが無いことを確認してください。



●引渡前の確認

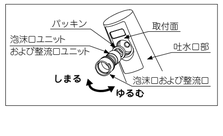
引渡前の確認および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

故障と点検

	故障の状況	確認内容	処置方法	参照項目
自動水栓タイプ	吐出しない、吐水量が少ない	止水栓を全開にしていますか？	止水栓を全開にする。	流量の調節
		断水中ではありませんか？	回復するまでお待ちください。	—
		ストレーナーや泡沫口または整流口にゴミなどが付着していませんか？	ゴミ等を除去する。	ストレーナー・泡沫口または整流口の掃除
		センサー表面が汚れていませんか？	汚れをふき取る。	お手入れ
		センサーコードがコネクターにしっかりと差し込まれていますか？	コードをコネクターに差し込む。	—
		水圧が低くないですか？	定流量弁を外して流量調節栓にて流量の調節を行ってください。	流量の調節
		（AC100Vタイプの場合）電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	コンセントに電源プラグを差し込む。	—
		センサーコードがしっかりと機能本体部に差し込まれていますか？	コードをコネクターに差し込む。	—
		（AC100Vタイプの場合）停電中ではありませんか？	回復するまでお待ちください。	—
		（アクエナジータイプの場合）専用リチウム電池が正しくセットされていますか？	専用リチウム電池を正しくセットする。	専用リチウム電池の接続
		（アクエナジータイプの場合）セットされている専用リチウム電池が寿命ではありませんか？	専用リチウム電池を新しいものに交換する。	取扱説明書（P.14）
		上記の箇所を確認しても吐出しない場合は、流量調節栓を閉じて、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。		
	流量が多い	ストレーナー内の定流量弁が取り外されていませんか？	定流量弁を正しくセットしてください。	流量の調節
	止水しない（勝手に吐水する）	センサーの前に障害物はありませんか？	障害物を取り除く	—
		センサー表面が汚れていませんか？	汚れをふき取る。	お手入れ
		上記の箇所を確認しても止水しない場合は、流量調節栓を閉じて、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。		
	吐水が乱れる	泡沫口または整流口がよごれていませんか？	泡沫口または整流口のよごれを拭き取ってください。	泡沫口または整流口の掃除
	泡沫口または整流口根元から水が漏れる	泡沫口または整流口がしっかり締め込まれていますか？	泡沫口または整流口をしっかり締め込んでください。	泡沫口または整流口の掃除
	吐水口からポタポタ水が落ちる	施工時に配管内のゴミを流しましたか？	ストレーナーの掃除を行う。また定流量弁を外し、大流量で吐水を行い、水栓内の細かいゴミを洗い流す。	ストレーナー・泡沫口または整流口の掃除
	お湯が出ない	小型電湯器が正しくセットされていますか？	小型電湯器附属の取扱説明書に従い、小型電湯器を正しくセットしてください。	—
セルフストップ水栓タイプ	吐水しない、吐水量が少ない	流量調節栓の開度は適正ですか？	流量調節栓の開度を調節する。	流量の調節
		整流口にゴミなどが付着していませんか？	ゴミ等を除去する。	整流口の掃除
	吐水口からポタポタ水が落ちる	施工時に配管内のゴミを流しましたか？	ストレーナーの掃除を行う。また定流量弁を外し、大流量で吐水を行い、水栓内の細かいゴミを洗い流す。	ストレーナー・泡沫口または節水スプレー散水板の掃除
	吐水時間が長い・短い	吐水時間が適正に調節されていますか？	吐水時間調節ねじで吐水時間を調節してください。	吐水時間の調整
ハンドル水栓タイプ	吐水しない、吐水量が少ない	流量調節栓の開度は適正ですか？	流量調節栓の開度を調節する。	流量の調節

〔泡沫口または整流口の掃除〕

流量が少なくなった場合や吐水が乱れてきた場合に、ストレーナーの掃除を行っても解消されない場合は、泡沫口および整流口のゴミ詰まりが考えられます。次の要領で掃除してください。
(1)止水するため、流量調節栓を時計回りいっぱいにねじ込みます。
手を差し出し、センサーを感知させ、止水確認、圧抜きをします。
(2)工具で泡沫口および整流口を回して取り外し、泡沫口および整流口を水で掃除してください。
※パッキンが入っているので、紛失しないように注意してください。
(3)取付けは逆の手順で行い、流量調節栓を元に戻します。（流量調節 参照）
※パッキンはよごれないように泡沫口の中に入れて、取付面と平行に吐水口部に取付けてください。
※掃除した後は泡沫口および整流口をしっかり締めてください。
※通水時に必ず水漏れの確認を行ってください。



〔セルフストップ水栓タイプ〕

●整流口の掃除

吐水口内部のゴミ詰まりは機能を低下させます。
ときどき次の要領で掃除してください。
整流口を工具（モンキーレンチ）で取り外し、整流ユニットを水で掃除してください。
※整流口の取り外しは直接工具を掛けますと、整流口をキズつける場合があります。必ず、布などを当てて工具を掛けてください。